

京都市デジタル化推進 プロジェクト

デジタル化・DX補助金

京都市 産業観光局 地域企業振興室



京都市
CITY OF KYOTO

○ デジタル化・DXの支援施策

本日説明会

01

デジタル化推進
プロジェクト

補助金

デジタル化を推進する取組
に対して、専門家派遣や
ITツール導入経費支援

02

DXモデル構築
プロジェクト

補助金

デジタル技術を活用した業
務・組織を変革する取組に
対して、専門家派遣やIT
ツール導入費用等を支援

03

人材育成
プロジェクト

セミナー等

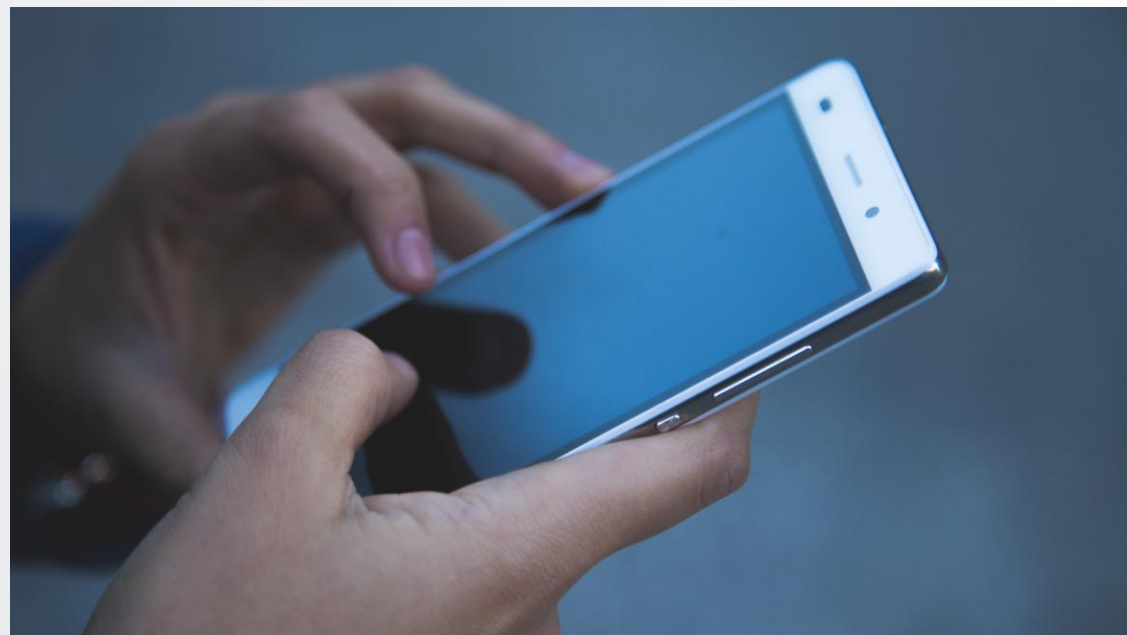
デジタル人材・DX人材の
育成を目的とした事業や
普及啓発を実施

01 補助金制度の特徴



IT 専門家派遣によるデジタル化の推進に関する 協議・検討

IT コーディネータ（※）等の資格を有する専門家を派遣し、専門家が事業者と共に経営課題や業務課題を整理し、どの部分にどのようなデジタル技術を活用するのか等、計画について協議します。

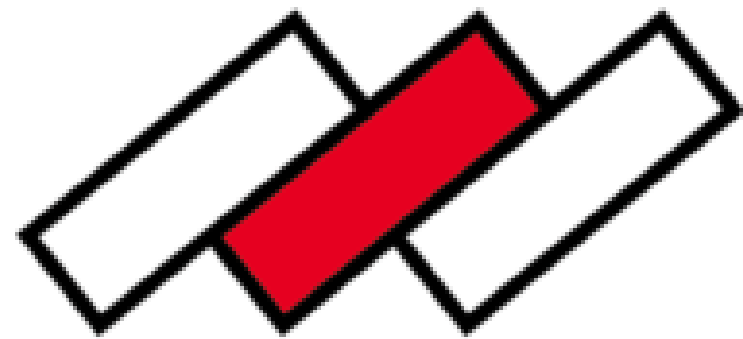


IT ツール導入等の支援

IT の専門家派遣により協議・検討した IT ツール等を導入するための経費を補助。

枠に応じて、金額と補助率は異なります。

ITコーディネータとは



ITC-KYOTO

企業の持続的な経営や組織の成長のために、
変革・構想立案からシステム導入・評価改善
までを一貫して支援し、デジタル経営とDX
を実現するプロフェッショナル人材（経済産
業省推進資格）

本プロジェクトでの専門家派遣は
（特非）ITコーディネータ京都に依頼

必須

I T 専門家派遣 最低 2 回、原則最大 5 回

1 デジタル導入枠

これからデジタル化を始める方

- ✓ デジタル化初期段階の事業者
- ✓ アナログ業務（紙・FAX）からの脱却
- ✓ 例：POSレジ、会計・顧客管理ソフト

2 デジタル展開枠

更なる効率化を目指す方

- ✓ 既にデジタル化に取り組んでいる事業者
- ✓ 部門間連携・データ活用
- ✓ 例：ECサイト、基幹システム導入

【デジタル導入枠】アナログからの脱却で、本来の業務に集中する

対象となるお悩み

「手書きの帳簿作成に毎月何時間もかかっている」 「在庫管理がノートで、実数と合わない」

アナログ



デジタル



- 手書きの会計帳簿 → クラウド会計システムの導入で自動仕訳
- 紙の注文伝票と現金決済 → POSレジの導入で売上データ自動集計&キャッシュレス対応
- 紙資料の山 → スキャナーとクラウドストレージによるペーパーレス化

【デジタル展開枠】システムをつなげて、もっと便利に、もっと売上アップ！

対象となるお悩み

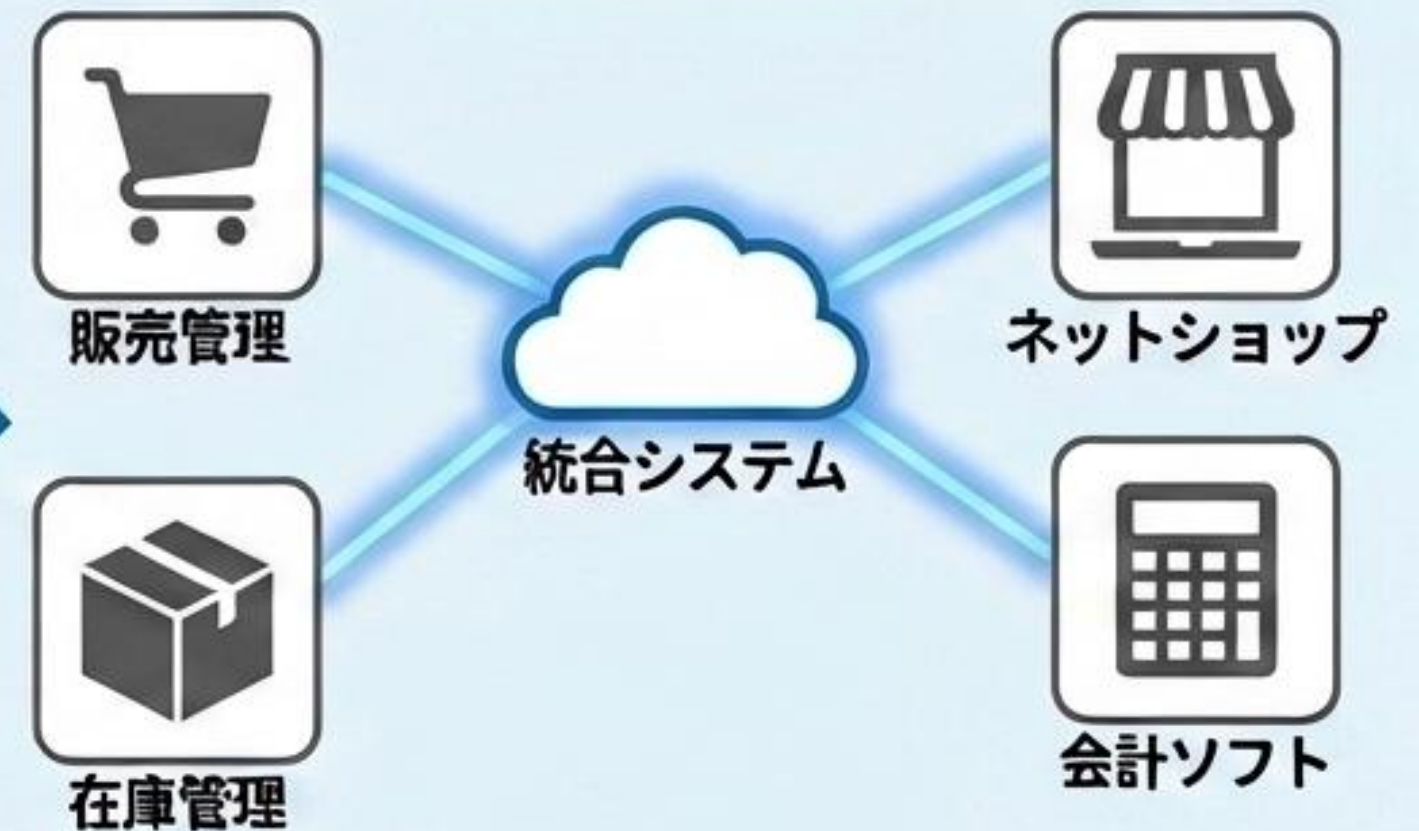
「部署ごとにシステムがバラバラで、同じ情報を何度も入力している」
「お店だけでなく、ネットでも商品を販売したい」

バラバラな管理 (Before)



デジタル展開枠
で導入！

つながるシステム (After)



- バラバラのデータ管理 → 転記作業が発生、ミスも多い

- 統合システム (ERP) で、注文・在庫・請求をまとめて管理
- ネットショップ (ECサイト) 開設で、全国へ販売拡大
- 自動化ロボット (RPA) が、単純作業を代行

03 補助金制度の特徴

デジタル導入枠

4 / 5
補助率

40万円
補助上限額

採択予定
50件

デジタル展開枠

2 / 3
補助率

100万円
補助上限額

採択予定
150件

過去に京都市のデジタル化
補助金を受けた事業者様も
一定採択予定

04-1 事業の流れ

step1	支援申請	2月24日 ～ 5月29日	自社の課題整理やITツールの選定等を行いデジタル化計画を考えた上で、申請書に必要事項を記入し、申請してください。
	審査		
step2	専門家派遣 補助金申請	6月下旬頃 ～ 9月11日	支援申請書の内容や申請者の業種に合わせてIT専門家を派遣します。専門家と共にデジタル化計画をブラッシュアップした上で、補助金申請を行います
step3	補助金交付決定 ITツール導入	交付決定 ～ 実績報告まで	交付決定を受けた後にITツール等を導入し、デジタル化計画を実行。専門家派遣の回数に余裕がある事業者には、専門家による導入状況確認の伴走支援します。
step4	事業終了 実績報告	(導入枠) 12月25日 (展開枠) 1月29日	ITツール等の導入に伴う費用を期限までに支払った上で、実施状況や効果を報告。報告に基づいて、補助金を交付します。

04-2 事業の流れ

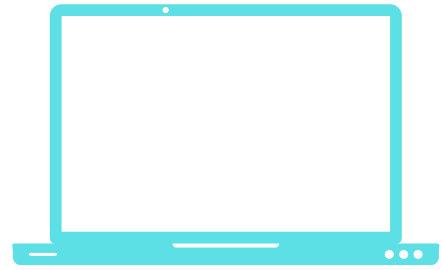
提出された計画を専門家（ITC京都から派遣）と共にブラッシュアップ



約3ヶ月



約3ヶ月



約4ヶ月～5ヶ月



専門家派遣期間

導入枠：12月末、展開枠：1月末

05 対象経費について



ソフトウェア 購入費

ライセンス料、パッケージ
ソフトウェアなど。



システム構築費

ECサイト構築、システム連
携、カスタマイズなど。



クラウドサービ ス利用料

プロジェクト期間中の利用
料に限る。



導入関連経費

初期設定、研修、セキュリ
ティ対策費用など。



賃借料

機器のリース、レンタル料
(従量課金制は対象外)。



ハードウェア 購入費

PC、タブレットなど。
※条件付き



【重要】 展開枠では、ハードウェア購入費のみの申請はできません。
ソフトウェアやシステム構築費とセットであることが必須となります。

06 ハードウェア購入費の注意点



PC・タブレット・
周辺機器等の購入
上限額

(導入枠)

- ・ 総額(税抜) 上限15万円まで

(展開枠)

- ・ 1台あたり価格(税抜) 上限15万円まで
- ・ 補助対象経費全体の3/5以内



ハードウェア購入
費の総額

(導入枠)

上限なし

(展開枠)

補助対象経費全体の3/4以内

07 対象外経費

以下の経費は補助金で支払うことができません。ご注意ください。



消費税（すべて税抜価格で申請・計算してください）



機器の修理代、システムの保守管理費、サーバー維持費



広告宣伝費（SNS広告、Google検索連動広告など）



システム導入と関係のない、単なるPCの増設や新入社員用のPC購入



売上向上等につながらない、単なる名刺代わりのホームページ作成

08 注意点 1 (申請対象者)

業種・組織形態	対象者
①製造業、建設業、運輸業	3億円製造業、建設業、運輸業資本金の額又は出資の総額が3億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が300人以下の会社及び個人事業主
②卸売業	資本金の額又は出資の総額が1億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人事業主
③サービス業(ソフトウェア業、情報処理サービス業、旅館業を除く)サービス業(ソフトウェア業、情報処理サービス業、旅館業を除く)	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人事業主
④小売業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が50人以下の会社及び個人事業主
⑤ゴム製品製造業(自動車又は航空機用タイヤ及びチューブ製造業並びに工業用ベルト製造業を除く)	資本金の額又は出資の総額が3億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が900人以下の会社及び個人事業主
⑥ソフトウェア業又は情報処理サービス業	資本金の額又は出資の総額が3億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が300人以下の会社及び個人事業主3億円
⑦旅館業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が200人以下の会社及び個人事業主
⑧その他の業種(上記以外)	資本金の額又は出資の総額が3億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が300人以下の会社及び個人事業主
⑨組合、連合会	中小企業等経営強化法第2条第1項第6号から第8号に規定される組合及び連合会
⑩医療法人、社会福祉法人、学校法人医療法人、社会福祉法人、学校法人	常時使用する従業員の数が100人以下の者
⑪社団法人(一般・公益)	直接又は間接の構成員の3分の2以上が中小企業者であり、かつ、上記①～⑧の業種区分に基づき、その主たる業種に記載の従業員規模以下の者
⑫財団法人(一般・公益)	上記①～⑧の業種区分に基づき、主たる業種に記載の従業員規模以下の者
⑬特定非営利活動法人	上記①～⑧の業種区分に基づき、主たる業種に記載の従業員規模以下の者

09 注意点2 (過去に補助金の交付を受けていても申請可能事業者)

補助金事業名	導入枠	展開枠
①令和2年度京都市予算「中小企業等IT利活用支援事業」	×	○
②令和3～5年度京都市予算「中小企業デジタル化推進事業」	×	○
③令和6年度京都市予算「中小企業デジタル化・DX推進事業」デジタル枠	×	○
④令和6年度京都市予算「中小企業デジタル化・DX推進事業」DX枠	×	×
⑤令和7年度京都市予算「デジタル化推進プロジェクト」導入枠	×	○
⑥令和7年度京都市予算「デジタル化推進プロジェクト」展開枠	×	×
⑦令和7年度京都市予算「DXモデル構築プロジェクト」補助金有り採択者	×	×
⑧令和7年度京都市予算「DXモデル構築プロジェクト」補助金なし採択者	×	○
⑨令和7年度「グローバル展開支援中堅企業創出プロジェクト (京都市DXによる生産性向上支援事業)	×	×
⑩上記①～⑨に掲げる補助金の交付を受けたことがない者	○	○

10 支援を受けた事業者様からの声

システムの方向性を、第三者の目から見て適当かどうかのアドバイスが良かった。

ベンダーとの間で導入ありきで、話を進めてしまいがちなパターンが多いが、専門家として意見を貰えるのはとても助かった。



ECサイトおよびモールでの商品展開を拡大し、売り上げが増大



出荷設備の導入によって、1点あたりの作業時間を30%削減することができ、月間30万円分程度の出荷コスト削減を実現できた。



11 その他の成果事例

- ・ 優良な取組事例を発信するために成果事例集を発行
- ・ ITC京都と協力して報告会を開催し、各団体・業界等に発信



令和4年度から発行を開始。

令和3年度実施分：25社

令和4年度実施分：20社

令和5年度実施分：20社

令和6年度実施分：20社

昨年度
発表会



🔍 京都市 中小企業 デジタル化・DXの推進×

12 審査基準

○導入枠

主な審査基準	審査内容
デジタル化の状況	ITツールを活用できていない、 デジタル化初期段階にある
現状と課題	自社のデジタル化に係る現状及び課題 が明確であるか
事業効果	自社の課題解決に向けて効果及び継続性の高い 取組内容となっているか。
意欲・必要性	デジタル化の必要性を理解し、意欲をもって取 りくもうとしているか
モデル性	デジタル化初期段階の事業者へのモデル事例と なるなど、波及効果が高い取組であるか

○展開枠

主な審査基準	審査内容
デジタル化の状況	ITツールの導入等により、 既にデジタル化に取り組んでいる
現状と課題	自社のデジタル化に係る現状及び課題が明 確であるか
事業効果	自社の課題解決に向けて効果及び継続性の 高い取組内容となっているか。
モデル性	デジタル化を推進する他の事業者へのモデル 事例となるなど、波及効果が高い取組で あるか
計画性	今後のデジタル化の方針が明確であるか。

事業効果

単なるツール導入ではなく、
生産性向上につながるのか

意欲・必要性

補助金ありき
となっていないか

モデル性

他者の参考に
なるような取組みか

14 申請書作成時のポイント

01

自社の課題が整理できていますか？

「単純に非効率だから」ではなく、「何が原因で非効率になっている」のか、それが今後の経営等にどう悪影響があるのかまで分析。

02

デジタル化が目的になっていませんか？

ITツールを買うだけになってしまい、現在の課題改善のみならず今後どうしたいかという点を意識していますか？

03

自社のデジタル化の状況が分析できていますか？

自社のITツールの状況や活用状況について、具体的に把握した上で、補助金をどう活用したいのか。

15 DXモデル構築プロジェクト

- ・ 対象：デジタル技術を活用し、業務プロセスの改善だけでなく、製品やサービス、ビジネスモデル自体を変革する取組
- ・ 補助上限：300万円（補助率1/2）
- ・ 専門家派遣：原則最大15回（デジタルよりも更に深い支援）
- ・ 採択予定：補助金有り5件（2年）
専門家派遣のみ5件（1年）



1年目
(令和8年度)

- ・ 専門家派遣
- ・ DX計画の策定支援
- ・ DX認定への申請支援



2年目
(令和9年度)

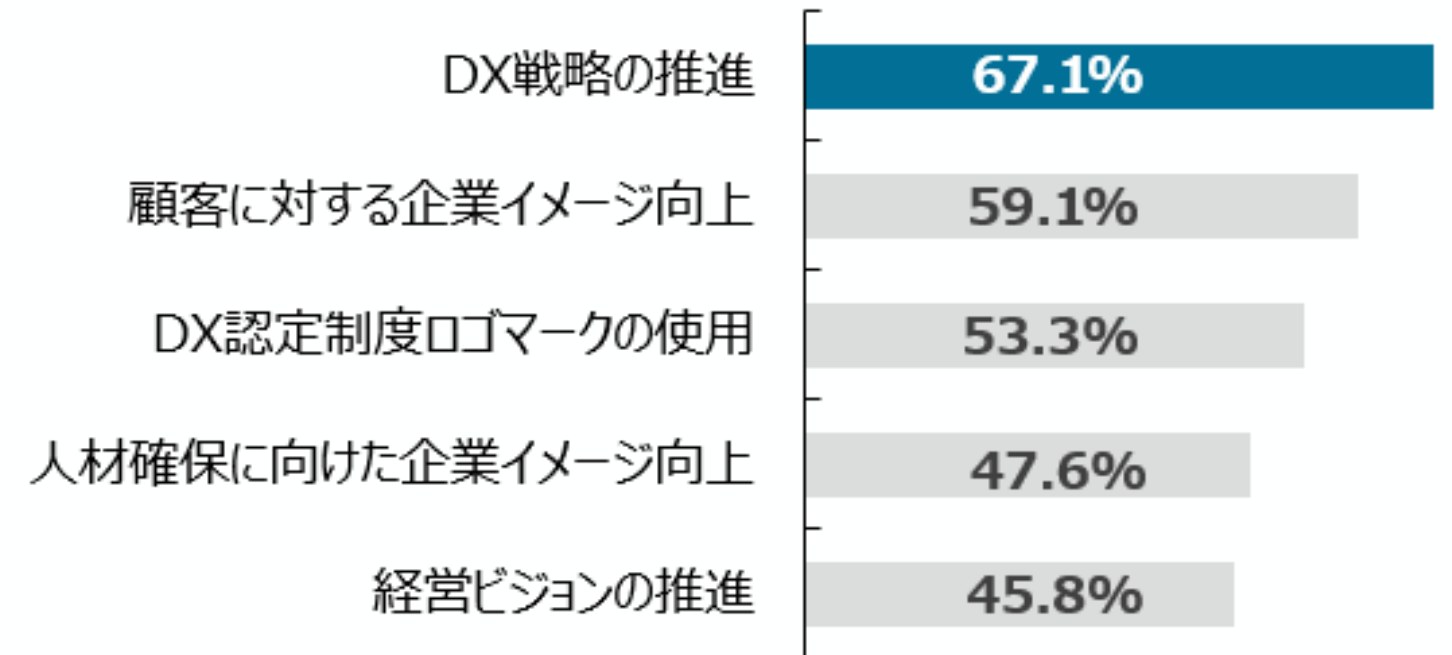
策定したDX計画に基づく
ITツール等の導入支援
(補助金)

16 DX認定とは？（DXモデル構築プロジェクト）

DX推進の準備が整っていると認められた企業を国が認定する制度

メリット

- ・ DX認定制度ロゴマークの使用
- ・ 日本政策金融公庫による金利優遇
- ・ 中小企業信用保険法の特例
- ・ 人材開発支援助成金（人への投資促進コース）
- ・ DXセレクションへの応募
- ・ ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金の加点対象



その他の効果

自社がDXに取り組んでいることをアピールすることが出来、企業イメージや信頼が向上し、顧客との関係、人材の育成・確保でも良い効果に繋がる

参考：経済産業省 DX認定制度

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/dx-nintei/dx-nintei.html

募集時期

デジタル化推進プロジェクト

令和 8 年 5 月 2 9 日（金） 1 7 時必着

※Q A や記載例は、公表中

※W E B 申請（原則）

※書類不備があった場合は事務局からの
連絡から 5 営業日以内に修正してください。



DXモデル構築プロジェクト

令和 8 年 4 月頃（予定）

※詳細な日程については、募集時期が近付いた頃に公表予定

補助金に関心をお持ちであれば・・・

デジタル化・DX計画を今から考えておきましょう！

- 「自社の課題整理」
- 「デジタル化・DX推進の体制づくり」
- 「課題解決のためのITツール探し」等…

一人で悩まず、まずは相談を

下記以外の様々な支援機関で相談を受け付けております
実施状況や詳細は、お近くの支援機関まで



補助金以外の支援

17 人材育成プロジェクト



(1) 人材育成研修の開催



(2) 社内研修会への講師派遣

18 デジタル・DX人材育成研修（以下、令和7年度テーマ）

デジタル人材・DX人材の育成

- 第1回：業務DX
- 第2回：営業DX
- 第3回：人材DX

AI・IoT・ロボット技術を有する人材の育成

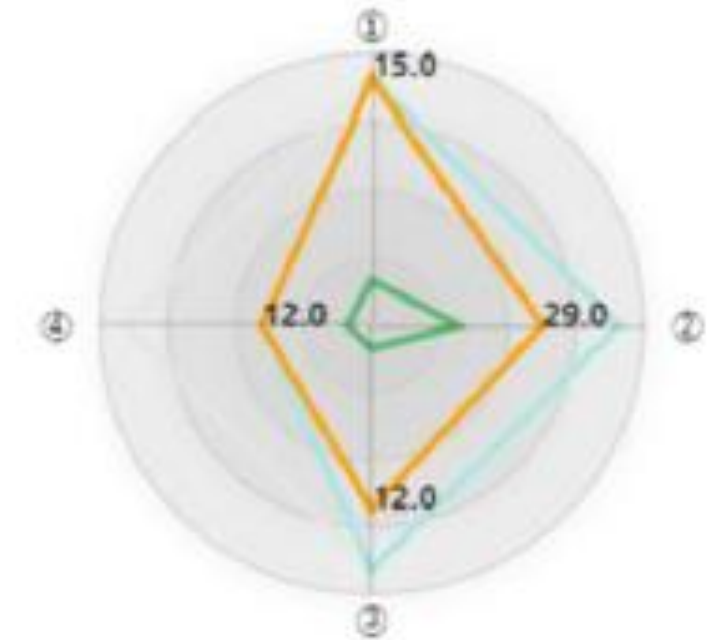
- 第1回：AIツール
- 第2回：IoT（RPA）
- 第3回：ロボット

- 各テーマ毎に全3回の講座を開催。
- 参加者には、経営の可視化ツールである「DX診断」を事前を実施し、DXの推進度を「DX診断レポート」を分析した上で、研修に臨む。

view point - DXを進めるポイント -

大分類

複数選択



● 上限 ● 全データ平均 ● 基準点 ● 自社

分類	大分類	自社	比較対象	満点
①	DX推進体制の整備	15.0	2.8	15.0
②	デジタル化デジタル技術の活用	29.0	14.6	42.0
③	DX人材の育成	12.0	1.5	16.0
④	ビジネスモデルの改革	12.0	2.7	27.0

(DX診断)

19 研修講師派遣

京都市デジタル化・DX人材育成プロジェクト
～デジタル・DX人材育成 研修講師派遣～

**無料で貴社に合わせた
研修講師を派遣** 10社
限定

申し込みはこちら！
随時受付中
※定員になり次第×

～主な研修テーマ～

- 便利なデジタルツールの活用方法
- AIを業務で活かすためのポイント・注意点
- 社内のDX推進チームへアドバイス
- システム開発ベンダー企業との上手な付き合い方
- サイバーセキュリティ重要性・事例

研修テーマについては、ご要望に合わせてアレンジします！

～研修の開催形態～

- ✓ 主催者 貴社・貴団体
※弊所は主催者・共催者ではなく、講師派遣の立場という位置付けです
- ✓ 形態 ご希望に合わせて柔軟に対応
※既存の会合(役員会、勉強会等)に合わせての派遣も可能です
- ✓ 講師 弊所登録専門家
※弊所に登録されているIT関係の専門家を講師として派遣します

※会場や周知費用などの開催経費は貴社にてご負担ください。
※講師の派遣期間は令和8年2月27日(金)までとなります。

時間 ご希望により調整
※45分、60分、90分、120分等ご希望に合わせて調整します。但し、派遣回数は1社1回とさせていただきます

2025. **7.25** FRI
～
2026. **1.30** FRI

公益財団法人京都高度技術研究所(ASTEM)

お問い合わせ デジタル化/DX人材育成事務局
☎ 075-366-5334 ✉ info-dx@astem.or.jp
平日：10:00～17:00(小倉、清水)

申込 右の二次元コード、又は、下記URLよりお申込みください
https://www.astem.or.jp/entry/dx-kansyuhokan

社内のデジタル・DX人材育成を目的にした研修を開催するにあたって、**研修講師を無料で派遣**。企業の要望に応じて、研修内容をカスタマイズ。

研修プログラム例 多彩なプログラムに対応しますので、お気軽にご相談ください！

- **テーマ1『再考DX』**
～ 変革し続ける企業を目指して～
対象：中小企業の経営者・管理者層
効果：単なるデジタル化(業務のIT化)ではなく、経営やビジネスモデルそのものの変革がDXの本質であるという原点に立ち返る機会になります。
- **テーマ2『次世代デジタル人材育成』**
～ DX推進スキル習得プログラム～
対象：DX推進担当社員・一般社員
効果：デジタル技術の基礎から活用法まで体系的に学ぶことによって、DXを推進できる実践的スキルと自信を身につけられる機会になります。
- **テーマ3『小規模事業者のDX導入』**
～ 少ない投資で最大効果を得る～
対象：小規模事業者、支援機関
効果：限られた予算でも実現可能なDXの具体策を学ぶことによって、効率的に業務改善・生産性向上を図る力を身につける機会になります。
- **テーマ4『経理の未来型オフィス』**
～ バックオフィスのデジタル進化～
対象：経営者・経理担当者
効果：経理業務のデジタル化による効率化と生産性向上の具体的手法を学び、未来志向の経理体制を構築できる力が得られる機会になります。
- **テーマ5『データドリブン経営入門』**
～ データを活用した意思決定と改善～
対象：経営者・管理職・実務担当者
効果：データに基づく客観的な意思決定の考え方と活用手法を習得し、業務改善や経営判断に活かせる実践力を高められる機会になります。
- **テーマ6『補助金活用で学ぶ実践DX』**
～ 事例から学ぶ効果的な導入方法～
対象：京都市内中小企業事業主
効果：補助金を活用したDX導入の成功事例や具体策を学び、自社のデジタル化を効果的に推進する実践的な知識を得られる機会になります。
- **テーマ7『現場から始めるデジタル活用』**
～ “アナログ卒業”小さな一歩～
対象：DX未経験の中小企業従業員
効果：現場目線で始めるデジタル活用の基本と小さな成功体験を学ぶことで、DXへの第一歩を踏み出す自信が得られる機会になります。
- **テーマ8『SNSリテラシー入門』**
～ 効果的な情報発信トレーニング～
対象：広報担当者・自治体・地域団体
効果：SNSの正しい活用法と効果的な情報発信スキルを学ぶことで、信頼性の高い広報活動を実践できる力が身につけられる機会になります。
- **テーマ9『デザイン思考でDX推進』**
～ サービスデザイン講座～
対象：新規サービス開発担当者
効果：利用者視点で課題を発見し解決するデザイン思考を学び、DXを活かした新規サービス開発の実践力を高められる機会になります。

京都市では、皆様の下支えや成長を支援します

デジタル化はただのツール導入で終わらず、ゴールでもありません
その先にある「DX」に到達し、更なる成長を共に成し遂げましょう